

研究成果展開事業 共創の場形成支援 イノベーションハブ構築支援事業 の概要

令和2年(2020年)2月19日

イノベーション拠点推進部 COIグループ
(イノベーションハブ構築支援事業担当)

推進PO 落合幸徳



国立研究開発法人
科学技術振興機構

内容

- イノベーションハブ構築支援事業の背景と概要
- 情報統合型物質・材料イニシアティブの体制

事業の政策的背景

■ 科学技術イノベーション総合戦略2014（平成26年6月24日閣議決定）

第3章 「科学技術イノベーションに適した環境創出」

→「挑戦」と「相互作用」による多様な機会を形成する3つの政策パッケージ

- ① **研究開発法人を中核としたイノベーションハブの形成**
- ② 若手・女性や中小・ベンチャー企業が挑戦できる環境の整備
- ③ 大学、**研究開発法人**、資金3つの**改革に係る取組の推進**

世界で最もイノベーションに適した国へ

- 科学技術イノベーション総合戦略2015 研究開発法人の機能強化
- 科学技術イノベーション総合戦略2016 国立研究開発法人改革と機能強化
- 科学技術イノベーション総合戦略2017 オープンイノベーションを推進する仕組みの強化

■ 第五期科学技術基本計画(2016-2020) 国研の橋渡し機能の強化

イノベーションハブ構築支援事業の概要

事業概要

イノベーションの「ハブ」となる国立研究開発法人の機能強化を支援

事業期間：平成27年度～平成31年度
事業規模：～4.5億円／課題・年

国立研究開発法人の機能強化を支援し、グローバルな競争環境の中で優位性を発揮できるよう、また我が国の研究力・人材力強化の中核的な拠点として必要な役割を果たすことができるよう、各国立研究開発法人の使命・役割に応じた国際的な拠点化や国内外の関係機関との連携、すなわち「イノベーションハブ」の構築を進めることを目的として実施。

事業特徴

✓ 英知結集の場

国立研究開発法人が自らテーマを設定し、ハブを構築します。民間企業、大学、公的研究機関、自治体等の英知を結集します。

✓ 人材糾合の場


各国立研究開発法人が設定するテーマに関連する人材の流動化を促進し、異分野・異セクターの人材が活発に交流する人材糾合の場を作ります。

✓ 研究成果の最大化


実用化の出口からのバックキャストにより、研究開発計画を「基礎研究」「要素技術」「技術統合」の3層に整理し、ハブ内のマネジメントツールとして活用します。（3層図を用いた研究開発マネジメント）




採択機関と取組概要

物質・材料研究機構 


マテリアルズ・インフォマティクス(第4の科学)の実証

宇宙航空研究開発機構 

地上と宇宙のデュアルユースを狙った産学官連携

防災科学技術研究所 

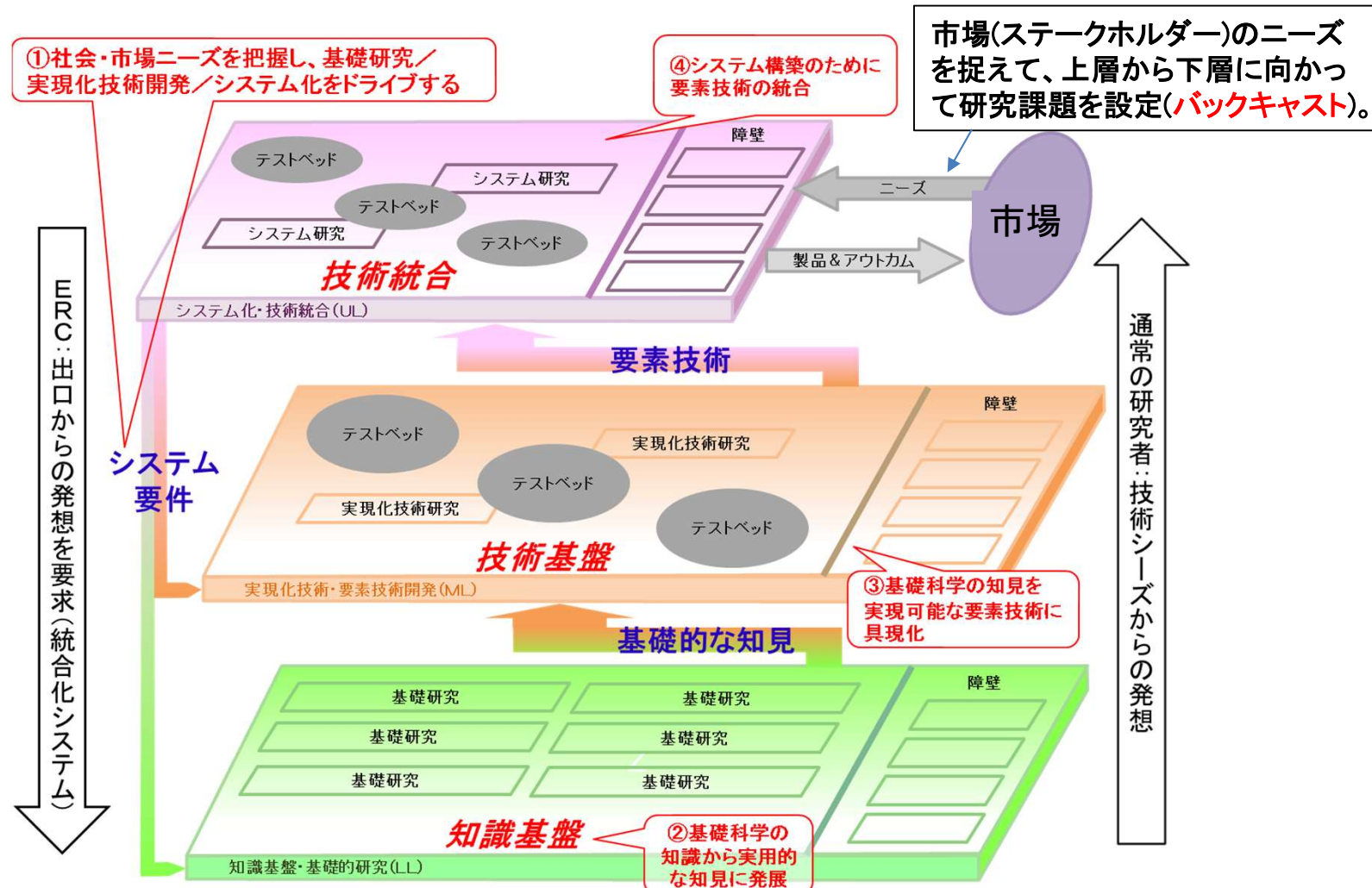
現場ニーズ主導の機動的な産学官連携(攻めの防災)

理化学研究所 

情報幾何学を活用した新たな生命医科学の手法開発

3層図による研究開発戦略

Three-level strategic planning diagram



※米国NSF資料(ERC: Engineering Research Center)を基に作成。
イノベーションハブ構築支援事業公募要領より抜粋。

MI²拠点の機能

効果期待

開発期間半減

新物質発見

材料科学の因数分解

要請

経営的視点

出口戦略

オープンラボ

MI²拠点の機能

機能1) COE機能

材料科学問題: タスク記述⇒結果活用

ソリューション提供

機能2) データプラットフォーム(DPF)機能

データとツール提供

機能3) スクール機能

基本となる方法論のガイドやDPFの活用方法

手法の普及教育

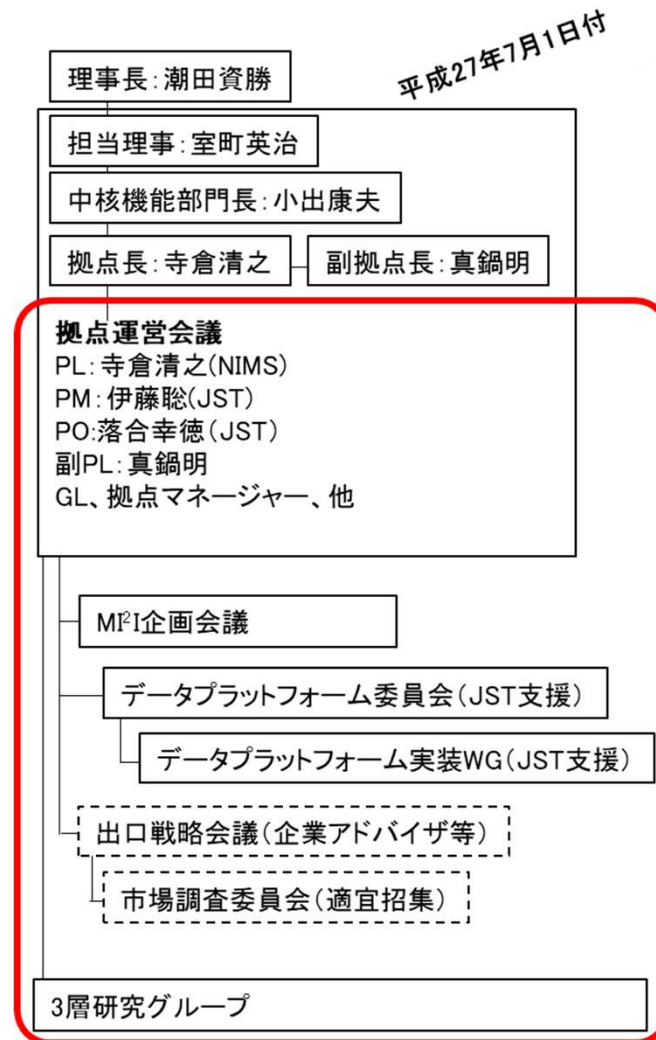
社会情勢

データ駆動科学

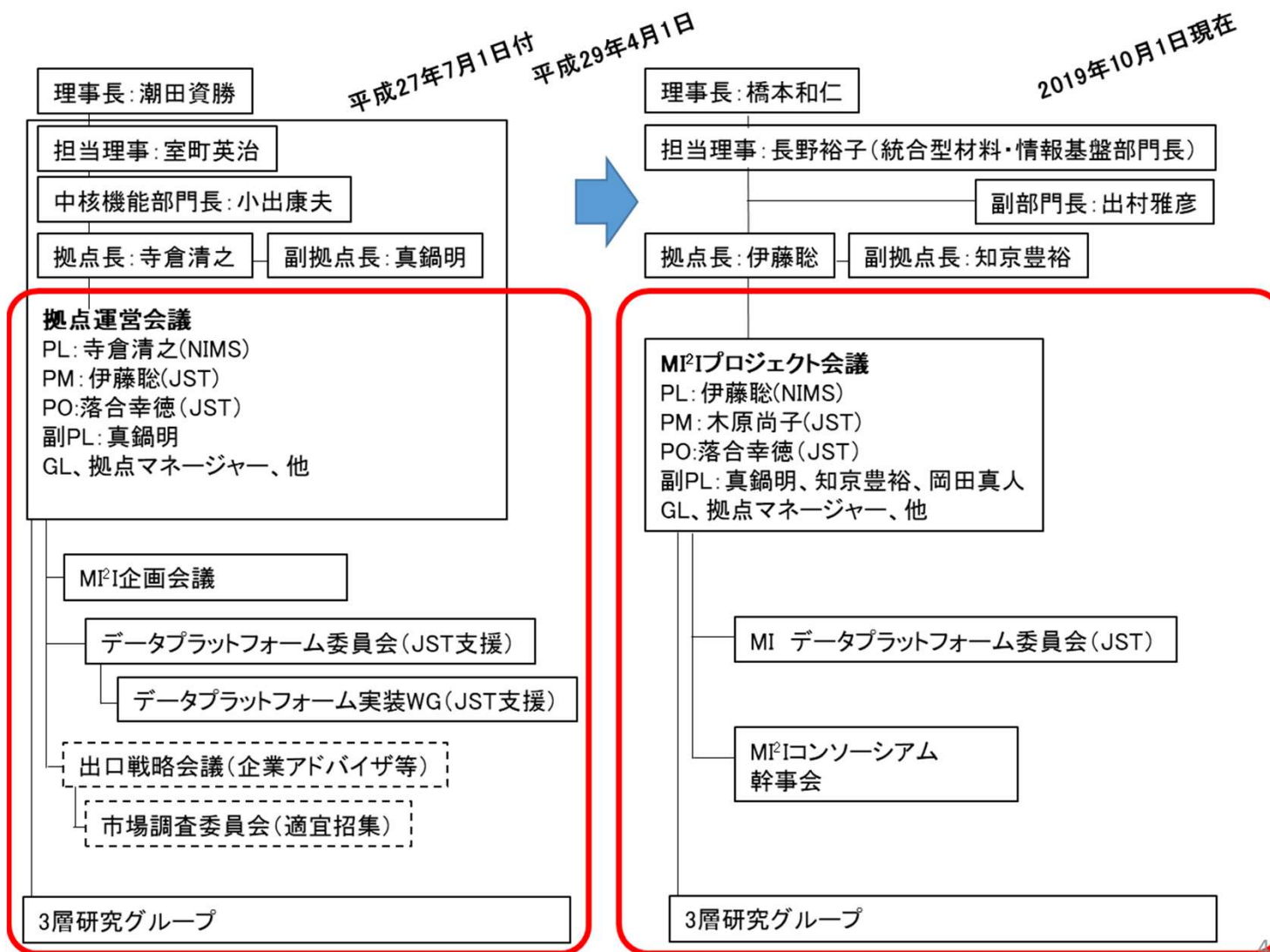
オープンサイエンス

システム of システムズ

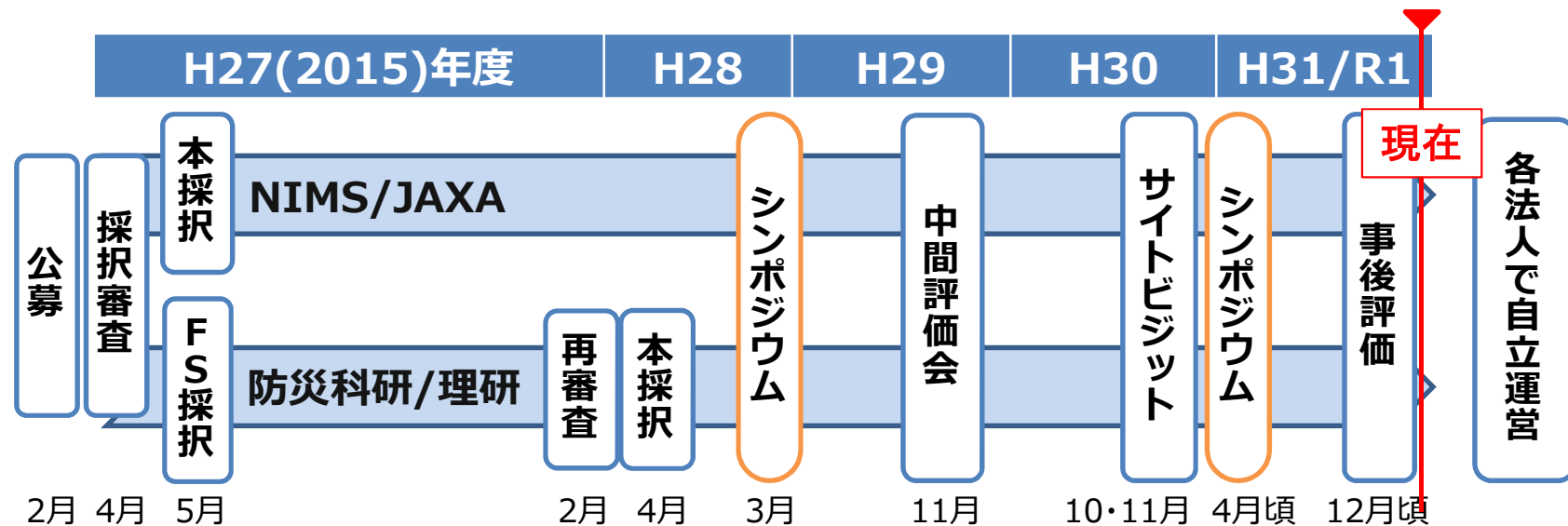
MI²Iの体制と会議体（初期）



ハブ内の体制と会議体（2年目以後現在）



イノベーションハブ構築支援事業のスケジュール



○「イノベティブハブ構築支援事業」シンポジウム

第一回 : 各ハブの活動状況の共有、ハブ間の交流 (含、非支援の5法人)

第二回 : 「ノウハウレポート※」をベースとした、運営事例やノウハウの共有、および
国立研究開発法人の機能強化等に関する議論 (→他の国研、大学への展開)

※各ハブの活動の具体的運営手法を言語化し、公表するものとして作成中

イノベーションハブの具体的な運営手法を
ノウハウ、背景なども含めて言語化

JSTイノベーションハブ構築支援事業

ノウハウレポート

～新たな産学官連携手法・研究開発手法の創出事例～

WEB公開中！

イノベーションハブ構築支援事業ホームページよりダウンロードできます。

JST ノウハウレポート



お問合せ：国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）イノベーション拠点推進部 ihub@jst.go.jp

Japan Science and Technology Agency



まとめ

1. イノベーションハブ構築支援事業の概要

- 国立研究開発法人の研究力、人材力の強化など機能強化を支援。
- イノベーションを持続的に創出する人材糾合の中核的拠点すなわちイノベーションハブを構築。出口を見据えたマネジメント。

2. 4つのハブ(国研)は、それぞれのミッションを達成するためにオープンイノベーションハブを構築して社会実装を進めています。

- NIMSハブ、理研ハブ：新しい学理を創出する基礎研究から社会実装(技術移転)までスコープに入れて活動。
- JAXA：地上と宇宙の両方に使える技術を民間企業との共同研究により可能性を実証。
- 防災科研ハブ：気象災害軽減と新たな価値の創造を目指して、センサー開発からシステム構築、ステークホルダーの連携体制を構築。